



14. バス輸送環境整備 (84)バス路線網改善についての不断の見直し

これまでは

バス路線網の合理的基準による見直しを図ってきました。

- 「奈良県地域交通改善協議会」において、「移動ニーズに応じた交通サービス」の実現に向け、路線の必要性・補助の妥当性を5つの診断指標に基づき判断することを市町村と合意。(平成25年10月)
- 県全域を18のグループに振り分けた路線別検討会議において、路線概況、『診断』結果等をまとめた「バスカルテ」を作成。
- PDCAサイクルにより、診断指標に基づき、毎年度診断を客観的に実施。この結果、**診断結果が全体として改善傾向**にあると判断。

・ 1便あたり利用者数	3.0人以上
・ 平均乗車密度	2.0人以上
・ 最大乗車人員	10.0人以上
・ 収支率(交通事業者)	40%以上
(市町村連携)	20%以上
・ 利用者一人あたりの行政負担	2,000円以下

【5つの診断指標】

もっと良くするために

県内市町村、奈良交通と協力して県内バス路線網の改善について不断の見直しを行います。

- ・ 今後も、PDCAサイクルにより、5つの指標に基づき、毎年度診断を客観的に実施します。その結果、「要改善」となった路線については、市町村と協働・連携してバス路線網の見直しを行います。
- ・ バス需要の変化に対応するため、新たなバス路線の創設などバスサービスの改善について関係市町村と検討します。
- ・ 「奈良県公共交通基本計画」、「奈良県地域公共交通網形成計画」を改定します。
- ・ バス運転手のMRI検査の実施など安全対策の強化を図ります。

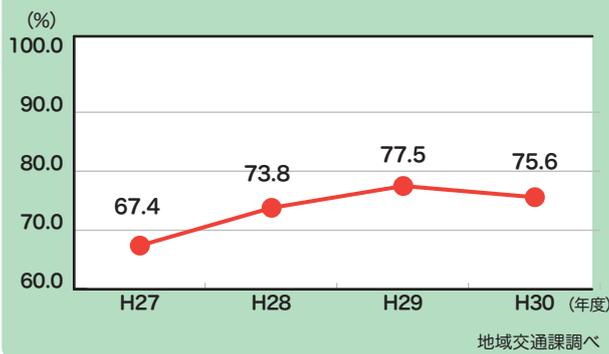
目指す姿

関係市町村と連携しバス路線網の見直しを行い、バスサービスの改善を図ります。

最近、路線バスの本数やダイヤが変わったよね!



5つの指標全てを達成している系統の割合



よく知ってますね。移動ニーズに応じた交通サービスの実現を目指して、バス路線網の見直しを行っています!



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県内バス路線網の見直し	公共交通基本計画等の改定	地域交通改善協議会の開催	
バスの運行費補助	バス路線のPDCAサイクルによる5つの指標に基づく診断		